

News Release

2006年5月18日

総合型確定拠出年金の運用商品 新たに2商品を追加

損保ジャパンDC証券株式会社

損保ジャパンDC証券株式会社（社長：本山浩一）は、本年6月より、総合型確定拠出年金（以下「総合型DC」）における運用商品のラインアップを、現在の12商品から14商品へ拡大します。昨今、総合型DCの加入者数増大に伴い運用方針の多様化の傾向が見られ、加えて株式市場の好調を背景に運用への関心もますます高まりを見せています。今回新たにタイプの異なる2商品を追加することにより、加入者は運用商品選択の幅が拡がり、より納得感のある年金資産の運用が可能になります。

追加運用商品の概要

1. 変更日：2006年6月1日（木）より運用指図が可能となります。

2. 追加する運用商品

タイプ	運用	商品名	委託会社
国内株式	アクティブ	JF日本中小型株ファンド	JPMorgan・アセット・マネジメント
外国債券	アクティブ	損保ジャパン外国債券ファンド (為替ヘッジなし)	損保ジャパン・アセットマネジメント

3. 商品の特徴、コンセプト等

<JF日本中小型株ファンド>

現在、総合型DCには国内株式型商品として「年金積立 インデックスファンドTOPIX」「DIAM日本株式オープン<DC年金>」の2商品を提供しておりますが、この2商品はいずれも大型株へ投資する比率が高い商品です。これに対して、JF日本中小型株ファンドは主に中小型株へ投資するため、組入銘柄や運用実績など既存2商品との特徴の違いが鮮明です。他の国内株式型商品と比べて違いが分かりやすく選別が容易だと人気が高い商品です。

<損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし）>

こちらの運用商品は外貨建資産への為替ヘッジは行いません。現在、外国債券型商品として「損保ジャパン外国債券ファンド」を提供していますが、こちらは為替ヘッジを行うタイプの商品ですが、為替ヘッジを行わない外国債券型商品の追加のニーズが以前から強いものがあり、追加商品として選定いたしました。

以上